



# 南越前町 議会だより

2018.1

Vol.22



「町消防出初式、音楽隊の合図で青空にアーチを描く一斉放水」

## Contents

- ② 年頭にあたり
- ③ 12月定例会報告
- ④-⑩ 一般質問（加藤伊平、南康夫、山本優、平泉初男、平谷弘子、坪川伸理、森昭義）
- ⑪ 主な議会活動報告
- ⑫ 町議員改選日程決定  
「18才輝く未来にまず一票」
- ⑫ 表紙説明 編集後記



発行：南越前町議会 発行責任者：議長 生駒 一義  
編集：議会広報特別委員会  
〒919-0292 福井県南条郡南越前町東大道29-1  
TEL (0778) 47-8004 FAX (0778) 47-3033  
<http://www.town.minamiechizen.lg.jp/>



# 年頭にあたり

南越前町議会議長

生駒 一義

新年あけましておめでとございます。

町民の皆様とともに、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より議会活動に温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も町民の皆さまの声を真摯に受け止め、町政に反映させるべく努力してまいりる所存でございます。今後とも格別のご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

振り返ってみますと、昨年は南越前町にとりましては、飛躍と改革の年でありました。また、私にとっても県町村議長会会長並びに、全国豪雪地帯町村議長会会長に推挙していただき、大変貴重な経験をさせてもらった年でござい

ました。

さて、町政では、本町が飛躍するための礎を築いていただきました川野町長が2期8年の任期を満了し、退任されました。後継者として「町民にやさしいまちづくり」「安全安心してくらせるまちづくり」など『6つのまちづくり』を公約に掲げて、改革と発展を目指した前副町長の岩倉氏が新町長として就任されました。

また、今庄駅舎のリニューアルや日本遺産として「北前船寄港地・船主集落」が認定されるなど多くの明るい出来事がありました。

一方では、10月22日の台風21号がもたらした暴風雨によって、南条・今庄地区が甚大な被害に見舞われました。

この台風で被災された町民の皆さまに心からお見舞いを申し上げます

ますとともに、一日も早い復旧を願っております。議会といたしましても、誠意をもって取り組んでまいりる所存でございます。

国においては、子育て問題、北朝鮮問題などを国民に問う衆議院選挙が執行され、与党が圧勝し、第4次安倍内閣が本格的に始動しました。

また、11月には日本国憲法及び地方自治法施行70周年記念式典が開催されました。

さて、今年は50年ぶりに本県で「福井しあわせ元気国体」が9月29日から10月9日にかけて開催されます。本町では、10月5日に桜橋総合運動公園において、正式競技の「軟式野球」が開催されます。全国から来られる選手や応援される皆さんを心から歓迎するとともに、国体の成功を願っております。

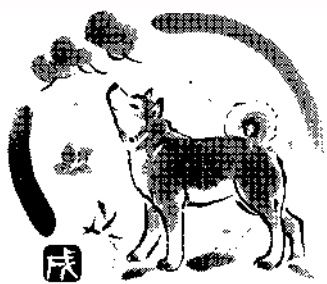
また、町のコンビニ誘致活動が実を結び、春には全国で2例目の「コンビニ二体型施設」が河野地区にオープンし、秋には、今庄住民センター（仮称）が完成する予定となっております。

人口減少で過疎化が進行する本

町において、活性化と賑わいを取り戻し、人口流出防止策の一助となることを期待しております。

こうした中、本年4月末には、議員の任期が満了となりますが、残任期間中は住民の代表として、その責務と役割を再認識するとともに、本町のさらなる発展のために、行政と切磋琢磨しながら、全力を傾注してまいりる所存でございます。

結びに、新しい年が町民の皆さまにとりまして、希望あふれる実り多き年になりますよう心より念願いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。





# 12月定例会

12月定例会は、11日から15日までの5日間の会期で開催され、一般会計補正予算、町子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正についてなど17議案を上程しました。初日の本会議で、専決処分の3議案を承認し、その他の議案は、各常任委員会に付託しました。

最終日の15日には採決が行われ13議案を原案のとおり可決しました。また、継続審査となっていた平成28年度各会計決算を認定したほか、南越前町教育委員の任命について同意しました。

一般質問は、11日に行われ、町政について7人が質問しました。

## 常任委員会報告

### 総務文教常任委員会

(12月12日 開催)

同委員会に付託された補正予算のほか、条例の一部改正についてなど3議案について、所管ごとに説明者の出席を求めて、慎重に審査を行い、原案のとおり可決しま

した。

## 産建厚生常任委員会

(12月13日 開催)

同委員会に付託された補正予算のほか、条例の一部改正についてなど10議案について、所管ごとに説明者の出席を求めて、慎重に審査を行ない、原案のとおり可決しました。

## 特別委員会報告

### 決算特別委員会

同特別委員会は、9月定例会で付託を受けた平成28年度各会計決算認定の審査を10月6日から11月28日の期間中の6日間開催し、原案のとおり承認しました。審議の過程で特に指摘した事項は次のとおりです。

① 観光事業を推進するにあたり県内外からの誘客に対する仕掛け並びに数値目標を設定して、観光振興に努力されたい。

**回答** 北陸新幹線敦賀開業を見据え、町総合計画の観光入込客数などの数値目標に加え、観光施設

等の数値目標を新たに設定し、他市町との広域連携、町観光連盟を中心とした誘客の強化、インバウンド対策などの受け入れ態勢の整備、観光資源の磨き上げを強力に進めます。

② 子育て支援や医療業務の向上を図るため、保育士・看護師等の研修の充実を図りたい。

**回答** 保育や医療業務等のスキルアップを図る観点から、計画的に研修等を受講できる体制の整備、業務に必要な研修等が職員の負担とならないよう努めます。

③ 獣害による農林産物被害の深刻化が原因で、後継者不足や生産意欲の低下を招き、地域振興の妨げになることが懸念されるので早急に対処されたい。また農林水産物の特産化に対し、必要な支援をされたい。

**回答** 生産者個々人での獣害対策には限界があるので、集落ぐるみで取り組んでいるが、被害が拡大しているシカ・サルの侵入防止柵の整備に対して集落への補助を見直します。また、農林水産物の特産品化に対し、意欲的な生産者と情報交換を行い、関係機関と連

携し、必要な支援を行います。  
④ スクールバスは、登下校の他、部活動、学校行事等にも利用できるよう努め、保護者の負担軽減に努められたい。

**回答** 登下校以外の空き時間の利用については、学校の要望を聞きながら、運行計画の調整を行っています。今後も利用については、関係機関と連絡を密にし、適正なバス運営ができるよう対処していきます。

**注** その他の指摘事項につきましては紙面の都合で割愛させていただきます。

## 原子力安全対策特別委員会

### 新幹線・在来線対策特別委員会

10月31日、2特別委員会を開催し、それぞれ関係者から現状について説明を受け質疑を行い、併せて、それぞれの課題についての研修も行いました。

(詳細は次号にて報告いたします。)



加藤伊平

一、災害対応について

**問 加藤** 10月22日夜からの台風21号により、県道南条停車場線沿いの西大道地係で町有林の直径50から60cmの杉の木が多数倒れ、電柱4本を折り、建物3棟にも被害を与えた。被災した住宅では深夜2時に大きな音で木が天井を破り、大量の雨が部屋の中に入り込んだというので、家の人の驚きと恐怖は想像を絶するものがある。

現地は「急傾斜地崩壊危険箇所」「保安林」に指定され、人家側には、高さ2mのフェンスがあるが、斜面が急で木が大きくこれを越えて倒れた。4・5年前にも同じことがあったということである。フェンスの無いところもある。

樹木の所有者は町で、このままでは今後も倒木で電線の切断や県道の通行車両の被害も想定されるが、どう対応するのか伺いたい。



台風21号による被害状況

**答 町長** この約10haの町有林は、県より「急傾斜地崩壊危険箇所」「なだれ防止保安林」に指定されており、正常に生えている樹木の伐採は出来ないことになっている。今回の台風により、多くの杉の木が県道側に倒れ、送電施設や3軒の家屋等に被害を与えた。町では、倒木撤去と建物の補償対応を行うとともに、家屋等に被害を与える恐れのある、倒れかかった樹木を撤去した。

町有林樹木は、雪崩防止の機能はある程度果たしているが、大きく成長した現在は危険因子となっており、住民の安全確保のため対策を講じる必要がある。正常な樹木の伐採も出来るよう、要件緩和を県に要望中である。

また、森林経営計画を策定し、国庫補助事業で間伐などを実施し、計画的に森林施業を行っていくことも検討している。倒木してからの事後対応を事前対応にすることにより、住民の安全安心確保に努める。

**問 加藤** 私たち議員は10月16日、藤原副町長にも同行してもらい、昨年4月の熊本地震で2、300棟の建物が倒壊した同県申佐町を視察した。奥名町長は、「災害は机上では考えられないことが多く、対応には宮城県東松島市へ被災地応援派遣した8名の職員の経験が大いに参考になった」と言っていた。当町でも職員の現実的、実践的ノウハウ取得が必要と思うがどうか。

**答 町長** 災害対応マニュアル

は、あくまで経験値に基づく机上の論理であり、想定を超える大規模災害に襲われた場合、マニュアル通りに事が運ぶとは到底考えられない。

これまで職員がボランティアとして、被災地応援に出向いたことはあるが、災害対応ノウハウ取得の観点での職員派遣は、長期間で通常業務の力バの問題もあり、行ったことはない。

今後は、「困ったときはお互いさま」という助け合いの精神とともに、職員自らが災害対応ノウハウを学べる現地派遣が行えるよう、庁内の体制を整備する。また、「防災士」

資格取得講習を職員が受講するなど、多方面の環境整備を積極的検討していきたい。



台風21号による倒木の様子

## 一般質問



南 康夫

### 一、過疎地域の集落対策について

**問** 南 過疎化が進む中で、全国的に見ると限界集落の再生、克服に力を入れている自治体が多数あるが、当町における限界集落及び準限界集落の現状と、集落に対するこれまでの取り組みと課題について伺いたい。

**答** 町長 今年、4月1日現在で、65歳以上が人口の50%を占める高齢化集落は15集落、55歳以上が人口の50%を占める準高齢化集落は42集落あり、当町の高齢化集落の割合は、県内で2番目に高い。集落に対する取り組みは、「集落自治振興交付金」及び「山海里集落支援事業補助金」を交付して集落活動を支援している。

また、今年7月から8月にかけて「まちづくり懇談会」を開催し、提案や要望を伺った。これらの取り組みを講じているが、高齢化や人口減少は着実に進行しており、集落内の山林や農地等の管理、鳥獣害対応・伝統芸能の継承活動等の集落機能の維持が困難になってきている。将来を見据えた集落対策ビジョンを真剣に議論していく必要がある。

**問** 南 今後、過疎地域にどのようなビジョン、方向性を描いて取り組むのか伺いたい。

**答** 町長 県が今年度実施した集落実態調査の結果をもとに、各集落の現状を把握し、課題の解決や今後のあるべき姿等についての話し合いを促進する。また、総務省では、集落のあり方等の話し合いをコーディネートする「集落支援員制度」や、集落の枠組みを越え、広域的に支え合う地域運営の仕組みを作る「集落ネットワーク圏」の形成を推進しており、県でも独自の集落対策の施策を検討しているようである。今後、総務省や県の施策

の活用を検討するとともに、先進事例も研究しながら、例えば、複数集落の連携や新たなコミュニティ交通の構築、空き家の利活用など、集落機能の維持と活性化に向けた当町独自の総合的な集落対策を早急に検討する。

### 二、原子力防災に関する取り組みについて

**問** 南 高速増殖原型炉「もんじゅ」の解体が決まり、今後、燃料体やナトリウムの取り出しが行われるが、当町の原子力防災における緊急時の対応について伺いたい。



高速増殖原型炉「もんじゅ」

**答** 町長 緊急時対応については、原子力施設において、迅速な防護措置が必要である「全面緊急事態」

が発生した場合、屋内退避を行い、県と協力しながら緊急モータリングを実施する。事態の規模、時間的な推移に応じて広域避難等を行う。広域避難先については、永平寺町内の公共施設等へ避難することになる。

その際、国から安定ヨウ素剤の服用指示があれば、町は医療機関等と連携して、速やかに安定ヨウ素剤を配付し、服用してもらう。

現在、原子力防災対策として、河野小学校体育館に放射線防護対策工事を実施し、緊急時の要支援者一時避難施設として、180人収容の空気清浄機能付きのエアテントを整備している。また、避難対策として国・県の支援を受け、住民避難車輛、住民避難資材及び資機材運搬車両等を計画的に購入している。原子力発電所立地県及び準立地市町で生活している住民にとって原子力災害はあってはならないものであるが、緊急時には国・県と連携を図りながら町民の生命・身体・財産を保護するために取り組んでいく。



## 一般質問



山本 優

### 一、台風21号の林道被害について

**問** 山本 自然災害の少なかった当町においても、台風21号による被害は大きなものとなった。被害の状況と復旧対策について伺いたい。

**答** 町長 今回の被害は、公共施設のほか、各集落にも多くあり、調査を各区分長に依頼し、結果46箇所、

すでに県町で対応したもののほか「特別対策補助」の



平成29年10月台風21号被害

対象が120件あり、見積書の提出を受け事業費の確定等を行っている。

**問** 山本 山林被害の対策について伺いたい。山林が多い集落にとっては、林業に対する課題が多い。特に、林道に認定されていない「作業道」の崩落、流失等が多数あり、日常は林道と同等のものも多く、林野作業などに支障をきたす恐れがあるが、現時点での被害について伺いたい。

**答** 農林水産課長 林道に認定されていない箇所は、「作業道扱い」となり、地権者での対応となる。被害は、13の集落から25カ所という報告があった。

**問** 山本 森林保全の観点から林道も作業道も山の管理上、大切な道であり、台風による被害で山に入るものが出来なくなると、山の荒廃が危惧される。山林保護の対策について伺いたい。

**答** 町長 町の面積の9割を占める森林面積の内、人工林の面積は、35%という現状であり、森林は、林産物の生産、土砂災害の防止、

水源の確保など多くの機能を有し、適切な手入れで守り育てていく必要がある。また作業道については、森林の保全のため集落ぐるみで相談し、森林組合へ委託する等検討してもらいたい。

### 二、南条SA周辺地域振興施設整備事業の経過について

**問** 山本 当事業における先進地視察を整備計画に類似する施設として、「ひみ番屋街」を視察しているがこの施設の内容と評価、関係者の意見、町の考えを伺いたい。

**答** 町長 10月に、氷見市の道の駅「ひみ番屋街」を視察した。農林水産物や加工品の販売、飲食サービス

などで構成されており、昨年の来場者は4割のリピーターも含め123万人と富



ひみ番屋街

山有数の観光地となっている。運営は、市と地元企業の出資による第3セクター方式で、駐車場や、温泉施設など総事業費約16億円で整備、各店舗は明るく、自分の店は自分でという思いが伝わってきた。視察の結果を活かし、町として良い施設になるよう協議を深めていく。

**問** 山本 地域振興施設は平成32年秋に運用開始となっているが、農産品の販売には施設、技術、生産体制など課題が多く難しいと思うが進捗について伺いたい。

**答** 町長 協議会設立後、関係者に対し、計画の説明を行うとともに、生産者や直売所運営者を対象とした意見交換会を開催し、貴重な提案を貰っている。農産物生産体制の構築は、一朝一夕にはいかない。基本構想を基に各団体の意見を参考にしながら、より具体的な基本計画を策定したい。

また、周辺の市場調査の結果から施設のコンプトを決定し、施設規模、内容を明確にし、地域団体の参画を促していく。

## 一般質問



平泉初男

### 一、南越前町人口ビジョンについて

**問** 平泉 人口が減少し、高齢化が高くなっているのは、過疎地域だけではなく、県都の中心部にも表れ始めている。町としては、その対策として「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を進めているが、これらの施策が達成されなくても、町民の生活は守らなければならない。また人口が増加しなくても町民が「安心し、便利で生活しやすくなった」と実感できるような施策と、その効果について、町民が理解できる説明を求めます。

**答** 町長 平成27年10月に策定した「南越前町人口ビジョン」及び「南越前町総合戦略」は、人口ビ

ジョンを踏まえ、基本的方向性や具体的な施策をまとめたものである。現在、この「人口ビジョン」及び「総合戦略」に掲げた目標を達成するため、取り組んでいるが、人口減少社会に対応するためには、人口増加を図るだけでなく、現在住んでいる町民が健康で安心して暮らし、快適に生活できるまちづくりを進めることが重要と考える。このため、光ケーブルによるブロードバンド環境の整備、新築する住宅の助成、中学3年生までの医療費完全無償化などに取り組んでいる。

今後は、「まちづくり懇話会」での提案や要望を検討し、住宅施策や子育て支援策、農林水産業の活性化、鳥獣害対策、公共交通手段の充実、高齢者施策などあらゆる面で、町民が「これからも住み続けたい」と実感できる施策を推進し、第2次南越前町総合計画に掲げられた「平成36年度における定住人口一万人」という目標の達成に取り組んでいく。

### 二、町内の景観保護について

**問** 平泉 観光の目玉として、河野北前船主の館、今庄宿の古い町並み、古民家、旧国鉄のトンネル群等多々あるが、古い建物の整備がされていないのが目立つ。景観保護のため、建物の壁の色や趣などに補助金を出したり、カラー舗装にしたりしているが、その前に、建物周囲の雑草の除去、側溝の清掃、周辺のごみの片付けが必要と思う。また、夜叉ヶ池の道路・広野ダム周回道路の整備等、今のままでは観光地としてアピールできないと考える。今後の対策について伺う。



古民家れすとらん「しげじろう」

通りなどの歴史文化遺産に恵まれた町であり、これらの景観を良好に保全することは、当町への観光誘客の観点からも大変重要な要素であると認識している。当町にある歴史文化施設等の維持管理、周辺の草刈りや、清掃などについて、常に目配りをし、観光客に悪い印象を与えないよう、適宜、必要な対策を講じていく。また、大桐区では、昨年度、「福井ふるさと百景活動団体」に認定され、今年度から旧大桐駅周辺において、草刈りや「あじさい」等の植栽を行うなどの景観づくりを進めている。大桐区の取組みのように、行政だけでなく、地域住民が主体的に景観づくりに取り組むことも、良好な景観の保全・形成に必要不可欠だと考える。今後、長期的、総合的な視点に立った景観行政を推進するため、当町では未策定の景観法に基づく「景観計画」を策定することについて検討を進め、行政と地域住民との協働による継続的な景観づくりを進めていきたい。

**答** 観光まちづくり課長 南越前町は「山」「海」「里」の豊かな自然環境と、今庄宿や河野北前船主



平谷弘子

一、南条保健福祉センターの空調設備について

**問** 平谷 当センターは町民が集まり、触れ合える無くてはならない場所である。しかし、2階の多目的ホールには冷暖房設備が無く、利用に支障をきたしている。今後の対応について伺いたい。

**答** 町長 当センターは平成6年に竣工しており、当時から大変盛んであったゲートボールを雨天時や冬期間でも高齢者に楽しんで頂くと同時に健康増進活動の場として整備したため、冷暖房やステージもなくホール全面がフラットな状態となっている。しかし、近年は利用目的が多様化している事も事実であり、大規模改修時には、



南条保健福祉センター

必要性や費用対効果、踏まえ、機器設置時の耐荷重についても十分に検証しながら、設置の是非を判断することとし、冬期間については大型ファンヒーター等を増設して対応したい。

二、本町の災害対策について

**問** 平谷 10月の台風で、最も重要なインフラである水道が断水し、高齢者・独居老人のみの世帯が多い今庄地区では、学校や公民館等での給水のみでは不十分である。今後の対応策について伺いたい。

**答** 町長 断水時の対応として、町の給水車の他に越前・敦賀市より借り受けた給水車を使用して、応急給水所を4日間にわたり開設した。また、水道水の入ったポリタンクを積載した広報車で呼びかけを行い、断水した区域を巡回し

たが、断水のエリアが広く、巡回に時間を要したことや、給水所の数が限られていたことで、高齢者にご不便をかけた。

今後は、機動力を持った応急給水に不可欠な資材の補給や応急給水所の設置箇所数を増加させるため水槽の購入など、給水活動の効率的な体制を構築していく。さらに、きめ細かな情報提供を行うとともに、区長・民生委員等の協力をいただき、高齢者の安否確認や必要とされる支援について全庁体制で強化していく。

三、南条サービスエリア周辺の地域振興施設整備について

**問** 平谷 観光事業経験者に地域振興施設の企画運営や業務に参画してもらい、従来のサービスエリア

では取り扱わない地域の商品や新鮮食材を加工販売し、生産者とともに周辺施設の活用ができる人材を配置してもらえるのか伺いたい。

**答** 町長 11月に南条地区における観光関係事業者による「南条観光ネットワーク協会」が新たに組

織された。ネットワーク協会では、観光に関する調査研究を始め特産品の開発・観光事業の指導育成などを目指すことで、町全体の観光振興に寄与するものと期待している。その代表者は、地域の各種団体で構成する「南条SA周辺地域振興施設整備事業協議会」にも参画してもらおう。

地元に通ずる地域の生産者や観光事業者の方々に、早い段階から積極的に関与をお願いし、この施設が情報発信の拠点となるような整備・運営計画を定めていく。

また、人材配置についても、これらの協議を継続していく段階で、積極的な意見を持った地域の関係者が中心となり活躍することを期待している。

**問** 平谷 事業実施に当たり、周辺の農地等の買収について伺いたい。

**答** 建設整備課長 買収面積は、約8,500平方メートル。地権者は3名で、仮契約を締結しており、12月議会において、承認されれば本契約となる。



## 一般質問



坪川 伸理

### 一、観光資源の発掘・活用に ついて

**問** 坪川 今庄駅構内の鉄道遺産保存に向け、現在の状況及び取り組みについて伺いたい。

**答** 町長 今庄駅には昭和中期まで蒸気機関車機関区があり、現在も残る給水塔と給炭台は『鉄道のまち今庄』を象徴する貴重な鉄道遺産と認識している。JR西日本からは「取壊す予定無し」と聞いている。昨年度から『鉄道遺産を活用した観光まちづくり事業』に取り組み、今年10月には敦賀市、長浜市と連携協定を結び、協議会を設立した。今後も関係市町との広域連携を図り、給水塔・給炭台を含む旧北陸線トンネル群等の鉄

道遺産を活用した観光誘客を更に進めていく。

**問** 坪川 今庄・河野地区におけるAR化について進捗状況と今後の取り組みについて伺いたい。

**答** 町長 光ケーブル化による高速大容量通信網を整備し今年度中には今庄駅舎と『ごときたまえ』内にある2ヶ所の観光案内所をWi-Fi化予定でありAR導入する周辺環境は整いつつある。ARは、今庄宿、河野北前船主通り、鉄道遺産等の歴史文化資源の魅力を体感できる有効な手段と認識しているが、課題は導入コストで今しばらく研究・検討を続けたい。



今庄駅舎 給水塔・給炭台跡

**問** 坪川 町内にある昭和の学校用具、農機具の展示について具体

策が見えない。検討状況及び活用策について伺いたい。

**答** 教育長 旧堺小学校跡の「大門民俗資料収蔵庫」と旧国華小学校跡の「南条ふるさと資料館」等にて、管理保管し小学校の校外学習の場として利用している。また、県教育博物館内での展示、同HPでは『お宝のある学校』として紹介されている。

他には『たくらCANVAS』のイベントにも活用されている。

今後も、資料の収集・整理をする中で、歴史文化の継承と教育遺産としての保存・活用について、町内外に情報発信していく。

**問** 坪川 城跡整備とトレッキングコース整備の進捗状況と今後の取り組みについて伺いたい。

**答** 教育長 町内には杣山城跡・燧ヶ城跡、木の芽城塞群があり、国指定史跡の杣山城跡は、毎年、ハイキングコース内の案内看板の修繕、倒木処理等の樹木管理をしている。史跡整備については、現在「史跡杣山城跡整備基本計画」を策定中で、文化庁との協議の中

で、観光分野等への活用も含めた再整備を目指している。燧ヶ城跡については、『今庄プロジェクト事業』により藤倉山・鍋倉山のハイキングコースを整備しており、案内誘導看板や史跡説明板を設置し、観光資源として活用している。木の芽城塞群については、毎年、草刈り等を行い、史跡の保存管理に努めている。今後も各城跡の登山道や案内看板等の適正な維持管理に努めていく。

**問** 坪川 文化施設や文化財の『活用』についての考え方を伺いたい。

**答** 教育長 町の重要な財産であり、活用方法については、観光関連機関との連携を密にし、南越前町にとって有益な財産となるような取り組みを推進していきたい。



AR画面サンプル  
(ウィキペディアより引用)



森 昭義

一、介護のあり方と今後の対策について

**問 森** 保険給付費が平成28年度決算で約13億円かかっており、団塊の世代が高齢化を迎えると介護費が増額すると思われる。そこで、今後の介護費の見込みと対応について伺いたい。

**答 町長** 直近の1人当たり給付費月額は、県内で一番高くなっている。試算すると、来年度から3か年である第7期中の介護給付費は、今期に比べて約5%伸びると予想される。介護給付費の伸びに伴い保険料の上昇も見込まれる。今後、介護保険を利用される高齢者は年々増加し、介護給付費の上昇が想定される。高齢者がいつま

でも健康で自立した生活が送れるよう、健康体操教室、介護予防のつどい事業、地域ふれあいサロン等の高齢者の居場所づくりや社会参加の機会を増やす事業を積極的に展開し、介護予防と介護給付費の抑制に努めていく。

**問 森** 町内の施設入所希望者待機数と介護施設整備について伺いたい。

**答 町長**

施設入所希望者の待機状況は、特別養護老人ホームの入所対象者となるが、要



地域密着型サービス施設 こうの

介護3以上で施設への入所を希望し、待機している方が7名、在宅が5名、医療機関への入院者が2名となっている。

また、介護施設整備については、第7期計画中は後期高齢者人口が減少する見込みであること、高齢

者のニーズ調査では、「人生の終末は、住みなれた地域や家庭で迎えたい」という回答が、7割を超えていること。さらに、平成27年度に「地域密着型サービス施設この」が整備され、施設入所希望待機者が減少傾向にあることなどから、新たに入所施設を整備するのではなく、国が推奨する在宅サービスに重点を置いた施策の展開を考えている。

**問 森** 高齢化と核家族が進む中、社会全体の問題となっているのが「介護問題」である。「老老介護」「認認介護」「介護制度の利用方法」について、深刻な状況にならないための対応策について伺いたい。

**答 保健福祉課長** 高齢化の進展に伴い、近年は認知症の方も増加し、老老介護・認認介護の問題は高まってきている。町としては、深刻な状況になるのをできるだけ防止するには、介護予防が極めて重要と考え、介護予防のつどい事業を増やす取り組みを積極的に実施し、介護予防を推進している。

また、介護予防サポーター等のボランティアの育成も行っており、サポーター自らが認知症予防、介護予防、健康づくりの知識を習得し、生活の中で実践するとともに、周囲に普及しながら、介護予防を支援するボランティアとして活動していただいている。

平成30年4月から、医師や保健師、作業療法士等の専門職による認知症初期集中支援チームを発足し、認知症の早期発見、早期対応ができる体制づくりを進めていくこととしている。

さらに、認知症の方を介護する家族の介護ストレス及び介護負担の軽減を図るため「認知症家族の集い」事業も開催している。

町や社会福祉協議会の地域包括支援センターでは、いつでも介護に関する相談を受け付けており、高齢者の方の心身の状況や家族の状況を聞きながら、地域における適切な保健・医療・福祉サービスが提供できるよう、関係機関と連携し支援を行っていく。



## 主な議会活動報告

■11月8日

旧齋藤家お披露目会が開催され、秋田副議長が出席した。

■11月10日

嶺北町村議長会研修会が永平寺本堂で開催され、生駒議長他11名が出席した。

■11月20日

地方自治法施行70周年記念式典が東京国際フォーラムで開催され、生駒議長が出席した。

■11月21日

県選出国会議員へ要望活動が全国町村議員会館で行われ、生駒議長が参加した。

■11月22日

第61回町村議会議長全国大会、第42回豪雪議長全国大会がNHKホールで開催され、生駒議長が出席した。



豪雪議長全国大会

■12月1日

南越前町・たんなん夢レディオ「臨時災害放送局」の開設

協定締結式が町役場で開催され、

生駒議長、秋田副議長、坂下総務文教常任委員長が出席した。

■12月8日

年末特別警戒の実施に伴い、生駒議長が督励巡視に参加した。

■12月16日

第43回水仙まつり開会式がアクティブランド体育館で開催され、生駒議長・丸岡産建厚生常任委員長が出席した。また、今庄365スキー場では安全祈願祭が開催され、秋田副議長他6名が出席した。



「臨時災害放送局」協定締結式



スキー場安全祈願祭

■1月7日

南越前町成人式が南条文化会館で開催され、生駒議長他13名が出席した。

■1月8日

南越消防組合、南越前町消防出初式が南条文化会館で開催され、生駒議長ほか5名が出席した。

■1月11日

南越前町交通安全祈願祭が熊野神社で開催され、生駒議長が出席した。

### 11月～1月の主な会合

一月臨時会

1月24日

全員協議会

11月28日、12月11日、15日、

1月24日

議会運営委員会

11月15日、12月4日、

広報特別委員会

12月27日、1月10日

### 広域組合議会の主な会合

■11月7日

県町事務組合定例会、自治会館

組合定例会、後期高齢者医療広域連合定例会が県自治会館で開催され、生駒議長が出席した。

■11月8日～9日

南越清掃組合議会行政視察研修が松阪市及び近江八幡市のごみ処理施設で行われ、組合議員3名が参加した。

■11月13日～14日

丹南広域組合議会視察研修が宇治市域振興社で行われ、生駒議長他組合議員1名が参加した。

■12月26日

南越消防組合臨時会及び南越清掃組合議会が越前市議場で開催され、それぞれ生駒議長他組合議員3名が出席した。

### 3月定例会傍聴(本会議)の案内

3月2日(金)～16日(金)  
南越前町役場議場 随時受付

- 1、本会議、予算・条例の上程
- 2、本会議「一般質問」
- 3、本会議、最終質疑討論、採決

詳細日程は後日の議会運営委員会で決定後、ホームページ等でお知らせします。

**町議員改選日程決定**  
**「18才輝く未来にまず一票」**

一昨年世界の選挙事情を考慮し、選挙権を20歳から18歳に引き下げられました。

初年度は、若者の政治に対する関心が高まりその年の参議院選挙では18、19歳とも50〜60%でしたが、昨年の衆議院選挙では両年齢ともに10%余り投票率が下がりました。また、町全体の投票率（詳細は表参照）と比較しても大幅に下回っています。

**18歳、19歳の投票率**

年齢	地域	28年参議院	29年衆議院
18歳	南越前町	61.4% ( 81人)	50.5% ( 49人)
	福井県	48.1% ( 3,830人)	50.7% ( 3,940人)
19歳	南越前町	52.6% ( 60人)	42.2% ( 49人)
	福井県	36.2% ( 2,862人)	29.1% ( 2,251人)
計	南越前町	57.3% ( 141人)	46.0% ( 98人)
	福井県	42.2% ( 6,692人)	39.9% ( 6,191人)
全年齢 (参考)	南越前町	67.6%	64.2%
	福井県	56.5%	55.9%

これは、若者の政治離れが顕著であると同時に、議員のなり手不足の傾向もあります。

いかにしたら、政治に関心を持ってもらえるのか。私たち議員が安全・安心なまちづくり活動を進めることで若者に目を向けてもらいたいと願っております。

4月の町議員選挙や立候補説明会の日程が下記のとおり決定しました。町長や町議員は最も身近な存在であり、新たに選挙権をもつ18歳は、自分たちの将来を託す大切な選挙です。是非投票に

**表紙説明**  
**町消防出初式**

町消防出初式が8日南条文化会館大ホールで行われ、南消防署と町消防団員140人が参加しました。

式典では、副管理者の岩倉光弘町長が「昨年は台風により大変な被害を受けましたが、安心して生活できるのはみなさんのおかげです。今後もよろしく願います。」とあいさつしました。

明るい町づくりに参加して戴きたいと思います。

自分で判断できる年齢ですので友達や家族と一緒に、候補者の話を聞くなどして大切な一票、悔いのない判断を期待します。

**平成30年4月実施予定**  
**南越前町議員選挙日程**

3月定例会 (参考)	3月2日(金) ～16日(金)
立候補説明会	3月29日(木)
告示日	4月17日(火)
投票日	4月22日(日)

**表題** 29年度選挙啓発標語から  
**「18歳選挙権大賞」受賞作品**

消防組合議員も出席し、代表して生駒議長の激励挨拶（左写真）を行いました。また優秀団員の表彰があり67人と2分団に授与されました。

続いて、ウォータールランド駐車場において、ポンプ車14台からホースを延ばし一斉放水を行いました。



**編集後記**

▼ 本年は、平成30年、来年5月には、平成から新しい元号に変わります。そのため新年の一般参賀では平成で最も多い十二万人余りの参加だとの報道が有りました。これは天皇が国民の象徴として慕われている証しだと思います。

▼ 昨年、退位の話が出ていた中、皇居の清掃奉仕に参加して、奉仕作業を中断、天皇、皇后両陛下にお会いし、そのお人柄に接する貴重な経験ができ喜んでいきます。

▼ 私たち議員の任期もあと3ヶ月余りとなりました。この「議会だより」で定例会、一般質問、議会活動などの報告も無事役割を果たし次に引き継げそうです。

▼ これは、事務局の手助けもありますが基本的には、議員自らが実践してきました。そのため行き届いていない面も多々ありますが、ご理解をいただきたいと思えます。今期最終回は、4月の予定です。より充実した内容となりますよう努力してまいります。(山本)